

畜産物の紹介コーナー

村上牛

地域銘柄「村上牛」の紹介

東京食肉市場で名が通る新潟県唯一の地域銘柄牛「村上牛」は、JAにいがた岩船、JA黒川村で生産された黒毛和牛を言います。

1. 「村上牛」の定義

村上牛生産協議会で生産出荷された黒毛和牛で、日本格付協会の枝肉格付規格4等級以上に格付された枝肉で「村上牛」のスタンプが押されたもの。

2. 「村上牛」の誕生

村上牛の生まれた村上市は、古くから黒毛和種の肥育地帯であったが、出荷頭数も少なく品質ももう一つ不足であって地域産地化を進めて行くにはほど遠い現状にあった。

昭和63年ごろ牛肉輸入自由化を目前にして、国際競争が迫られているなかで、先ず国内産地間競争を対象に戦う必要があった。

小さい1農協だけでは無理な事から当時の村上市農協組合長は、岩船郡内6市町村管内8農協長と直接話し合いを行い合意を得ると共に県経済連、全農の支援を受けて共販体制を整え、共通の指導を行いながら地域銘柄牛を推進させる村上牛生産協議会を設立させ「村上牛」が誕生した。

更に、平成8年にJA黒川村が協議会に参加して、出荷体制の一層の充実を図ってきた。

3. 「村上牛」振興活動

- (1) 村上牛生産のため統一した指導方針を図るため生産者、農協担当者が協議を重ねる。
- (2) 生産技術の高位平準化を促進するため、先進地視察、肥育技術勉強会、定期的な枝肉共励会を開くと共に、生産者の意識統一を図るため生産者交流会を開催して来ている。
- (3) 「村上牛」消費拡大を図るため枝肉市場の買参人との交流会を開催。また、地元市町村、商工会、観光協会とタイアップし毎年7月末に新潟市で村上牛フェスティバル等を開催して広く村上牛PR活動を行って来ている。

今年7月27日(金)午後6時、「ホテル新潟」で開催。

4. 推進活動の成果

(1) 肥育技術の成果

◎全国肉用牛枝肉共励会に出品し以下の成績を上げてきた。

平成七年度 優秀賞、優良賞受賞

平成八年度 名誉賞、優秀賞、優良賞受賞

(2) 消費活動の成果

県内、地元の消費拡大を図るため村上市内の肉屋さん、レストラン、料理店、旅館へのPRの一方、消費者への活動としてイベント会場での試食・販売並びにパンフレットの配布に努めている。

◎県内の主な取扱店：**村上市内**(有)やま信、(株)肉のとうやま、八百金商店、本間精肉店、JAにいがた岩船生活課 **村上市外**(株)よね一、JAミートにいがた

平成12年度実績

生産者数	飼養頭数	出荷頭数
46人	1,495頭	786頭

～詳細はJAにいがた岩船営農課へ問い合わせ～

TEL 0254-52-0514

FAX 0254-52-0520

編集後記

季節はめぐり桜花爛漫の春が過ぎ、早や梅雨の季節に入りました。当協会業務も4月早々には平成12年度各事業の完了報告書提出、新年度事業の契約・申請、協会の監査会、5月末日には第48回通常総会の開催等々と行事が目白押しでした。

ようやく一息つけるかなと思ったら、6月11日から1週間に亘り会計検査院による会計実施検査が行なわれ、当協会も検査対象に該当しました。準備や何やらで、日々適度な緊張感の連続で仕事にも張りを感じながら「職員一同」頑張りました。

佐渡の朱鷺の産卵や孵化のニュースが新聞やテレビで報道されていましたが、現時点では11羽の幼鳥が健やかに育っているとの事です。当協会も「全農にいがた・第2ビル(旧経済連・下越支所)」で業務を開始して3年目を迎え、今年4月には総務課を設置し、専務以下4課体制で10名の職員がそれぞれのポジションで大きく羽ばたこうと努力しております。ご支援・ご指導をよろしくお願い申し上げます。さて、レット・イットも3号の発行を迎え内容の充実に向けておりますので、皆様の貴重なご意見・ご注文をお待ちしております。ぜひお寄せください。

(花田記)